

みなみ

R5年度 竜王南小学校便り

No. 12

2024.2.2 発行

甲斐市立竜王南小学校



学校教育目標

「楽しい学校（楽校）の創造」

— やる気 こん気 げん気 —

学校給食週間 1月24日～30日

給食週間に合わせて、今年度は地産地消をテーマに給食の献立が考えられ提供されました。甲斐市や各地の地場産物を使用した献立に子供たちは舌鼓を打ちました。

1月24日(水)「鶏肉のうめジャム煮」

甲斐市特産の「うめジャム」を使って柔らかく鶏肉を煮込んだ料理です。「うめジャム」の甘酸っぱさがとってもおいしいです。

1月25日(木)「ビーフシチュー」

甲斐市特産の「甲州ワインビーフ」の入ったシチューです。とろけるようなまろやかさとこくのあるおいしさです。

1月26日(金)「赤坂トマトのかきたま汁」

メニューの名前通り甲斐市特産の「赤坂トマト」が入っているかきたま汁です。かきたま汁の中に柔らかいトマトが入り、優しい味がおいしいお汁です。

1月29日(月)「鮭のちゃんちゃん焼き」

北海道の郷土料理で、鮭の上にキャベツやにんじんなどの野菜が乗り、バターのこくと野菜や鮭のうまみが凝縮されたおいしさです。

1月30日(火)「ソースかつ」

福井県の郷土料理で、カツにおいしいソースが絡み、揚げたてでさくさくとして、とても美味で食べ応えがあります。

給食の変遷

詳しくは1月の給食だよりに載っていますが、戦後すぐから今に至るまで様々な給食の形態がありました。現在、甲斐市の給食は本当においしく、成長期の子供たちにとりとても大切な食事です。



一月三十日の給食



特に本校は自校給食で、一つ一つ調理員さんたちが手造りしてくれているからこそ、味わえるおいしさです。給食の時間が、身体の栄養だけでなく、心の栄養や知識としての頭の栄養も取り入れた時間となるよう、これからも努力していきます。

わくわくタイム

今年度も4回のわくわくタイムが実施されました。この活動は各班の6年生が企画したそれぞれの縦割り班遊びです。「ドッジボール」や「しっぽとり」「陣取りじゃんけん」など内容も様々です。やる度に打ち解けていく縦割り班遊びに笑顔がいっぱいでした。

回数を重ねるごとに6年生の運営も上手になります。また、低学年の児童も話をしっかり聞いて行動できるようになります。こうした体験の積み重ねが子供たちを成長させてくれます。特に異年齢集団の活動は子供たちのソーシャルスキルの向上にも大きな効果があることが分かっています。しかし、それ以上に、縦割り班の子供たちが、学年を超えて知り合い、声を掛け合える心の交流ができるようになることが何よりの宝物だと感じています。



冬 みいつけた！

3学期になり、一段と寒さが厳しくなってきた1月下旬。1年生は生活科で氷づくりをしていました。中庭に置いたバケツの中にできた大きな氷の塊。その氷の大きさと厚さと朝日に輝く美しさに1年生は「うわあ、すごい！」と歓声を上げています。こうして寒いからこそ見られる自然の産物は何よりの驚きと感動をくれます。大人ですら、感動するのですから、ましてやそういう自然に初めて出会う子供たちの心には、どれだけ大きなものが残ることでしょう。また、ある日には、中庭にできた霜柱を取ってきてプレゼントしてくれる1年生もいました。きっと見たこともないすてきな氷の結晶だったのでしょ。微笑ましい自然のプレゼントです。

近年温暖化で今年の冬も暖冬傾向です。本校から見える富士山の雪も例年になく少ないと感じています。しかし、1月から2月にかけて、山梨は氷点下まで最低気温が下がり、まだまだ寒さが厳しいです。暖房器具なども普及し、厳しい寒さを感じにくくなってきている時代だからこそ、こうして寒い朝に季節を感じていくこと、季節ならではの楽しみを見つけることは情操を育み、学びを育てていく上でも重要です。五感を通して、寒さや冷たさを肌で感じる。透明な氷を見つける。冬の朝にピンと張り詰める空気の匂いや静けさを感じる。これらは全て体験からしか得られません。こういう体験が言葉とつながり、やがて、その言葉が季節の語彙となっていきます。そして、自然の中での新しい発見は子供たちの好奇心となっていきます。このような季節ならではの学びも、四季のある日本だからこそ大切にしたいものです。



冬来たりなば、春遠からじ